

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2001. 11. 21

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）田辺（福浜小）福井（伊島小）

先週まで3週間、福井の個人的な都合（次男が人工内耳の手術をしました）で休会させて頂きました。サイエンスフィールドには柿が山のように収穫されていて、たくさんおみやげに頂きました。

【中国電力で科学教室】石浦

12月22日（土）に中国電力エネルギー・プラザで科学教室を行います。小学生を対象に20人を募集して行います。内容は、①紙トンボ、②備長炭電池、③水中エレベーター、④風船カー、⑤紙ホイッスル、⑥紙ロールこま作り、⑦ミニロケット、です。現在、石浦、高松、福井が参加予定ですがまだまだスタッフ募集中です。（ただし完全ボランティア！）



【パワーポイントで研究発表】田辺

校内で行った総合学習の発表を再現してくれました。内容はもちろんのこと、そのプレゼンテーションの素晴らしさに目をうばわれました。パワーポイントというソフトで作ったそうですが、文字や図、写真がぐるぐる回ったり音をたてて現れたりして、見ているだけで楽しい発表でした。視聴覚の担当と言うことで、視聴覚機器の紹介も兼ねていたからとの弁ですが、便利な道具があるものだと感心しました。



【視聴覚教材の活用】田辺

デジカメひとつで教室が変わる。例えば、机間巡視して目についた児童のノートをパチリ。すぐにコード1本でテレビにつなげて全員に紹介する。絵本を撮っておいて大型画面で読み聞かせをする。視聴覚教材をうまく利用すれば授業形態を大きく変容する可能性がありそうですね。



【吹きゴマ決定版】高松

少しずつ進化を続けている吹きゴマですが、ついに決定版とも言えるものができました。紙にコピーした図をラミネートして使うという方法です。この方法でできた吹きゴマは少し重くて慣性が大きく回転が容易に止まらない。従って、高く飛ぶ。また色も目立ってきれいです。オススメです。



【ペーパークラフト】福井

6時間もかかる次男の手術を待つ間、東急ハンズで買ったペーパークラフトを作りました。紙をていねいに切り取って折り曲げ、木工ボンドで貼っていく。4時間以上かけて完成

した作品は上のは「空飛ぶブタ」。4本の足を動かしながら翼をパタパタはばたかせる。体全体も前後に動く。クランクを使った複雑な動きのメカニズムがすべて紙できているのがとても面白いです。下はイライラする手。4本の指がタタタン、タタタンと順番に動きます。こちらはカムを使っています。